

リトルワールドキャンプ 19

同窓会(お楽しみ会)

活動報告書

令和3年 12月

静岡県立大学公認クラブ

リトルワールドキャンプ実行委員会

1. はじめに

私たちは、例年12月に静岡県立大学にて、同窓会というものを行っています。この同窓会は、夏のキャンプに参加してくれた県内の小学生を招き、キャンプを振り返りながらレクリエーションを通して親睦を深めることを目的として開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、夏のキャンプには外国にルーツをもつ子どもを招待することができませんでした。しかし、12月の同窓会には何人かの外国にルーツをもつ子どもが参加していただけることとなったため、初顔合わせとなるこの会を今年は「同窓会」ではなく、「リトルワールドキャンプ19お楽しみ会」として開催することとしました。

2. 活動内容

お楽しみ会では、「はじめの会」、「ビンゴ大会」、「オーナメントづくり」、「お別れの会」の4つのプログラムを行いました。

まず、「はじめの会」では子どもたちに円を描くようにならんでもらい、ポルトガル語で自己紹介をしてもらいました。緊張しながらも慣れない言語で一生懸命話そうとする姿に多くのスタッフが心打たれました。自己紹介が終わると、ブラジルに関する〇×クイズを行いました。クイズに正解するごとに、スタッフから好きなシールをもらい自分の名札につけてもらうのですが、シールをもらいに行く嬉しそうな子どもたちの表情が見られ、だんだん緊張がほぐれていっているようでした。真剣にクイズに正解しようとする、ブラジルについてよく知ろうとする姿勢がはっきりと見られました。

〇×クイズが終わると、次に「ビンゴ大会」を行いました。数字が書かれたくじにはポルトガル語での読み方が書かれており、くじを引くたびにみんなでその数字を読み上げるという追加ルールを入れて、ゲームを進行していきました。子ども一人一人にくじを引いてもらい、より早くビンゴした子から景品をもらえます。なかなか出てほしい数字が出ず悔しい気持ち、ビンゴして嬉しい気持ち、そういった自分の心情をスタッフや友達に伝える友好的な姿が見られ、スタッフと子ども一丸となって楽しんでいるような雰囲気が感じられるプログラムでした。

ビンゴ大会の後、「オーナメントづくり」にプログラムが移ります。スタッフと子どもたちでクリスマスツリーに飾るオーナメントを作ろうというものでした。手のひらサイズのカプセルの中に、綿やモールなど、いろいろな装飾品をいれるというシンプルなものでしたが、子どもたちの熱意は想像以上で、とても凝ったものを作っている子もいました。想像力を働かせ、ああでもないこうでもないと言って試行錯誤する様子が見られました。また、オーナメントを早く作り終えた子は、折り紙でサンタクロースや雪の結晶を作ったり、完成したオーナメントの出来栄を自慢し合ったり、称え合ったりしていました。クリスマスへの気持ちが高まる素敵なプログラムでした。

最後に行われた「お別れの会」では、まずフォトフレームのデコレーションを行いました。各々自分の好きなようにフォトフレームに飾り付けをするのですが、小さな手で真剣に工作する子どもたちと、それを全力でサポートするスタッフの姿が見られました。完成した後は、装飾のテーマやこだわりポイントなどを話し合う様子が見られました。わずか数時間でここまで親睦を深められたことに、本当によかったなとほっとしたのを覚えています。お楽しみ会閉会の後に、子どもたちからキャンプ絶対行くね！また会おうね！と声をかけてもらったことで、最高のリトルワールドキャンプにしようという気持ちがより強くなりました。

今後ともスタッフ一同全力で頑張っていきますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

《お問い合わせ・ご質問》

静岡県立大学公認クラブ リトルワールドキャンプ実行委員会

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学 リトルワールドキャンプ

Email little_world_camp@yahoo.co.jp

HP <http://littleworldcamp.jimdo.com/>